

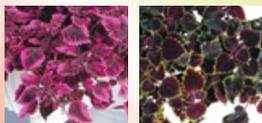
コリウスガーデンを 楽しもう

栄養系コリウスは、カラフルな葉色、様々な形、大きさや高さも色々と、たくさんの品種があります。花壇・コンテナガーデン・ハンギングバスケットに組み合わせ次第で素敵な彩りのコリウスガーデンが楽しめます。5月から10月まで長期間楽しめる栄養系コリウスはガーデンの主役としての魅力たっぷりです。

コリウスの品種

葉は比較的小さく、茎が横に広がりながら成長するタイプ。ハンギングや花壇の前面、寄せ植えにおすすめです。

●ハンギング



ときめきリンダ ブロンズキャン

葉の大きさは比較的小さく、ピンチすると分枝が多くなり、こんもりと茂るタイプ。花壇の前面、グランドカバーに。

●プチ



ギャラクシー オーロラブラックチェリー

葉の縁が波打っているユニークな形が特徴。品種によりトピアリー仕立てや、こんもりした形に作り上げることができます。

●ウェーブ



チュルオタ ライムサンシャイン

比較的葉が大きく生育旺盛なものが多く、葉色もカラフルで花壇・コンテナ植えだけでなくスタンダード仕立てなど様々な使い方ができます。

●スタンダード



ミッドナイトグリーン レモン

コリウスの管理方法

環境

コリウスは「温度」、「光線」、「肥料」によって葉色が変化します。一時的には色が悪くなくてもあきらめないで、がんばって育ててください。秋にはすばらしい色彩が楽しめます。

育てる場所は日当たりのよいところで。ただし真夏の強光線下に置かれた場合、葉色に変化したり、葉焼けを起こす場合があります。このような場合は、様子を見ながら置き場所を半日陰に変えてみてください。直射日光にあたり葉色が悪くなってしまっても、秋口になれば再び鮮やかな葉色になります。

温度は、20～30℃で元気に生育します。最低温度が15℃以上の環境になれば戸外で育てることができます。冬越しさせる場合は室内へいれて、最低でも10℃以上で。

用土・肥料

排水性のよい用土で育てましょう。植え付け時は、緩効性の肥料を少々入れ、植え付け後1ヶ月過ぎたら、薄い液肥を1～2週間に1回かけるとよいでしょう。スタンダード仕立てやツリー仕立てを作る場合は、生育期には肥料を少し多くするとよいでしょう。

水やり

株が小さいときは、用土が乾き始めたら、タップリと水やりをしてください。ただし、多すぎる水は生育を阻害しますので、用土が十分に濡れている時は水やりを控えましょう。株が大きくなってからも、用土が乾き始めたら、タップリと水やりをしてください。大きな株になると水分をかなり必要としますので、用土の乾き具合をマメにチェックしましょう。しおれてしまった場合は、すぐに水やりをしてください。

切り戻し(ピンチ)

コリウスは、どの位置でピンチをしても大丈夫です。伸びた茎をピンチして形を整えることにより、思い通りに仕立てることができます。時には思い切って短めに切り戻しをしても問題ありません。

ピンチを繰り返すことで分枝が多くなり、こんもりと仕上げることができます。寄せ植えや混植する場合も伸びすぎた茎は好みの位置で早めにピンチしましょう。コリウスは成長が早いので、特に樹勢の強い品種だと、他の植物を覆ってしまうことがあります。ハンギングバスケットに植えた場合も、2週間に1度位の割合でピンチして形を整えると、秋遅い時期まで良い状態で楽しめます。



いろいろな楽しみ方

●単品で

大きなコンテナへ植えて、ピンチを何回か繰り返すとこんもりと茂って存在感のある鉢に仕上がります。好きなコリウスで楽しんでみましょう。



●寄せ植えて

コリウスを3~4種類、葉色の組み合わせを考えながら寄せ植えをしてみましょう。伸びた茎を好みの形になるようにピンチをしながら仕立ててください。コリウス以外のカラーリーフとの寄せ植えも素敵です。



●ハンギングで

ハンギングバスケットに3~5品種、葉色の組み合わせを考えながら植込んでみましょう。伸びすぎた茎を時々ピンチして月1~2回くらい液肥をかけると10月まで充分キレイな状態で楽しめます。



●花壇で

花壇にコリウスを植え込んで、カラフルな彩りのガーデンに!色合い、葉の形、大きさも考えて、お好きなレイアウトで植え込んでみましょう。素敵なお花壇が出来上がります。



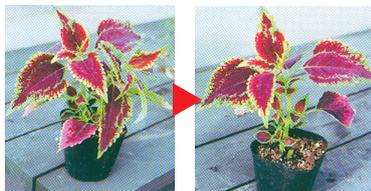
トピアリー仕立てに挑戦!



コリウスで作る ピラミッド型トピアリー

ベーシックタイプのコリウス「ウォルターターナー」。真夏はやや緑になりますが、秋にはすばらしい葉色が楽しめます。

ゆっくり、じっくり形を整えピンチを繰り返して仕上げていきます。5月中旬~6月上旬で始めると、9月頃には出来上がってきます。品種はスタンダードタイプやウェーブタイプから分枝のよい品種を選びましょう。



1 9cmポットで一番強い茎を1本だけ残し、他の茎は切り取ります。

2 15cm前後の鉢に植え替えます。やや温度が高めの場所へ置いた方が、早く成長します。ピンチはしないで、そのまま大きくさせてください。



3 しばらくして、草丈が鉢の高さの3倍くらいになったら、直径25~30cm位の仕上げの鉢に植え替えましょう。移植したら、中心に太めの支柱を立てて、中ほどと上部の2カ所を結わておきましょう。中心の茎はそのまま伸ばし続けますが、横から伸びてきた茎は、先端部分をピンチします。こうすることによって、分枝がよくなり株にボリュームが出てきます。



スタンダード仕立てにするには、ピラミッド型の手順の1~2と同様にし、草丈を伸ばして50~60cm位になったら先端をピンチして分枝させます。下の方の芽は切り取っておきます。大きい鉢に植え替えて、さらに分枝した茎の先端のピンチを繰り返してこんもりと丸く仕立てましょう。

禁複製



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

アヤハディオアプリ 会員募集中!



アヤカ
ポイントも
貯まる!

Point
ポイント
カード
機能

クーポン

最新チラシ

DIO
店舗検索

アヤハディオ
ネットショッピング

アプリ
ダウンロードは
こちら▶▶



Download on the
App Store



ANDROID APP ON
Google play

